

財務諸表三表（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書）の相関関係

【資金収支計算書：当期末支払資金残高】



【貸借対照表：流動資産－流動負債】

（流動資産・流動負債の計算にあたっては、1年基準により固定資産又は固定負債から振替られた流動資産・流動負債、引当金、並びに棚卸資産（貯蔵品を除く）を除く。

なお、病院や老健を運営する施設分の医療品は F に含めて計算する。

○ 計算方法

$$A=B=(E-F)-(G-H)$$

【事業活動計算書：次期繰越活動増減差額】



【貸借対照表：次期繰越活動増減差額】

○ 計算方法

$$C=D=I=J$$

参考：相関関係のイメージ

資金収支計算書関係

資金収支計算書

第1号の1様式

勘定科目	平成 年 月 日 (前)	平成 年 月 日 (当)	増減(A)-(B)	備考
現金				
預金				
債権				
固定資産				
負債				
純資産				
当期末支払資金残高(11)+(12)			A	

資金収支内訳表

第1号の2様式

項目	当年度	前年度	増減	備考
現金				
預金				
債権				
固定資産				
負債				
純資産				
当期末支払資金残高(10)+(11)			B	

貸借対照表関係

貸借対照表

第3号の1様式

資産の部			負債の部		
当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減
E			G		
流動資産			流動負債		
医薬品			賞与引当金		
診療・療養費等材料			次期繰越活動増減差額		
給食用材料					
商品・製品					
仕掛品					
原材料					
1年以内回収予定長期貸付金					
徴収不能引当金					
F			H		
			流動負債		
			賞与引当金		
			次期繰越活動増減差額		
			I		

A=B

(E-F)-(G-H)

貸借対照表内訳表

第3号の2様式

項目	当年度末	前年度末	増減	備考
流動資産				
流動負債				
賞与引当金				
次期繰越活動増減差額				
次期繰越活動増減差額				J

事業活動計算書関係

事業活動計算書

第2号の1様式

勘定科目	平成 年 月 日 (前)	平成 年 月 日 (当)	増減	備考
現金				
預金				
債権				
固定資産				
負債				
純資産				
当期末支払資金残高(17)=(13)+(14)+(15)-(16)			C	

事業活動内訳表

第2号の2様式

項目	当年度	前年度	増減	備考
現金				
預金				
債権				
固定資産				
負債				
純資産				
当期末支払資金残高(17)=(13)+(14)+(15)-(16)				D

C=D=I=J